

令和元年度第1回いわき市総合計画審議会 議事録

1 日時

令和元年7月29日(月) 10:00~11:30

2 場所

市役所本庁舎3階 第3会議室

3 出席委員数

16名

4 次第・資料

別紙のとおり

5 議事

(1) 説明事項

- ① 新たな総合計画策定の取組みについて (資料1 <ダイジェスト版>
資料2 <詳細版>)

(2) 協議事項

- ① 新たな総合計画の方向性について (資料1 <ダイジェスト版>
資料2 <詳細版>)

(3) その他

6 議事内容

【説明事項】と【協議事項】について関連があるため、資料1、資料2に基づき、事務局から一括で説明(論点ごとの議事要旨であり、発言順ではない。ただし、事務局発言については、直前の委員の発言に対する回答。)

協議事項における意見集約

将来に対する不透明性・不安が高まる中、改めて「住んで良かった、住み続けたいと思えるまちづくり」といった自治体経営の基本に立ち、共創のまちづくりの理念を根底に置きながら、経営感覚を持って取り組むことができる仕組みを構築すべき。具体的にはまちづくり基本条例と、これを推進する仕組みを【まちづくりの理念】として位置付け、中長期を見据えた5年程度の期間で重点的に取り組む事業を【経営指針】として策定する方向で今後、検討を進めていく。

(1) 新たな総合計画策定の取組みについて

発言者	主な発言内容
委員	【計画の構成について】 アンケートの詳細な結果なども拝見したが、いろいろな意見が出されている。市がやろうとしていることが漠然としていて伝わっていない、

	<p>総花的であるというのは、良く言えばバランスが良いということだが、悪く言えばメリハリ・目玉がないということ。これらの意見を新しい計画にも取り入れられれば良いと考える。</p> <p>【「安心・安全」について】</p>
委員	<p>アンケートの回答者の半数以上が60歳以上であったことについて、いわき市の人口（34万人程度）に対する65歳以上の割合は30%なので、65歳以上に枠を広げると、35%程度であると推定でき、アンケート結果には偏りがあることが分かる。「安全・安心」のキーワードが挙げられているのもその偏りが影響しているのではないか。</p> <p>中高年世代・子育て世代・若者の3つくらいの年代に分けて、又は地域で分けてニーズをとらえる必要があるのではないか。</p>
委員	<p>アンケート回答者の大半が高齢者であったが、最も関心の高い「安心・安全」のイメージをどのように考えているのかをもっと踏み込んでいくべきではないか。例えば、医療、コミュニティ、災害、交通など具体的なイメージを捉えることで、まちづくりのゴールイメージを捉えやすくなるのではないか。同様に若者が考えている「安心・安全」のイメージも掘り下げて、幅広く拾っていくべきであると考え。</p>
委員	<p>「安心・安全」のイメージなどは、審議会でも議論していくべきと考えるが、委員も自分の世代の意見をしてしまうことが多い。各世代の意見を取り入れるためには、もっと調査が必要ではないか。</p> <p>【若い世代の声について】</p>
委員	<p>自分の団体で独自にアンケートを実施したことがあるが、やはり回答は60歳代が最も多く、若い世代の回答率は低かった。また、平地区在住の方の回答が多く、中山間地域にお住まいの方の回答は少なかった。セグメント懇談会で高校生は市外に出ていく傾向が強いことを踏まえると、アンケートの回答としては少数ではあったが、「住みにくい」と感じている若い世代の声をきちんと拾っていくべきではないか。</p>
委員	<p>アンケート回答者の53%が高齢者であることは分かったが、それ以外の世代の回答率は分かるか。</p>
事務局	<p>資料2スライド5に記載。例えば20歳代は6.2%。</p>
委員	<p>若者が政策に興味がないことは分かっていることではあるが、計画を全世代対象とするものにする以上、声を上げないから分からないではなく、興味を持ってもらう方法を計画に盛り込むなど、若者の声を丁寧に拾っていく必要があるのではないか。</p>

委員	<p>若者の声を拾うためにセグメント懇談会を実施していただいたと理解している。ただ、高齢者を支援する中で子どもの問題が出てくるなど、課題の現れ方が様々であるので、別の形で若者の声を取り入れる機会を設けてもよいのではないか。</p>
委員	<p>アンケートの実施について、各団体を通じて呼びかけをすれば、より幅広い世代の声を聞くことができ、回収率も上がるのではないか。</p>
委員	<p>ある中学校で、部活動が少ないという話を聞いたことがある。学生数が少ないので、大人数で行うスポーツなどの部活はできない状況。これも満足度につながっているのではないかと考える。</p>
委員	<p>個人としても、いわき市の弱みとして挙げられている「PR不足」についてはその通りだと感じており、風評被害や原発問題に関しても、もっと自己主張すべきと考える。</p>
委員	<p>高校生が市外に出て行ってしまうのは、いわき市の弱みの1位である「交通の便」が大きく関連していると感じるし、何らかの対応が必要ではないかと感じる。</p>
委員	<p>高校生の意見で「卒業後は市外に出ていきたい」というのが多いのは、色々なことを知って広い視野を持ってもらうためには必要だし、大いに結構だと思う。戻ってこない理由の一つとして、人や企業などが10年前と変わらないから、ということを知ったことがある。郡山市などは、人の出入りも多く、企業も変わっていく。人や企業、情報が循環していると、子どもたちは「都会」と感じ、戻って来る意向も高まるのではないか。</p>
意見	<p>成人してからいわき市に戻ってきた人へのヒアリングはできないか。これからいわきを出ようとしている高校生だけでなく、戻ってきた理由を把握することによって、Uターン等のために力を入れるべき政策が見えてくるのではないか。</p>
委員	<p>いわきを出て、都会で働いている方へのヒアリングは行っており、戻って来られない理由は、賃金水準が第1位であったと記憶している。戻ってきた理由として想像される第1位は「引継ぐべき家業・不動産がある」と思われるが、「都会で得た経験や知識を活かし、いわきの課題を解決したい」という理由で戻ってくる方が増えることを期待したい。</p>

委員	<p>【創生総合戦略について】</p> <p>若者を含め、市外に出て行ってしまっても最終的に戻ってきてくればよいと考える。特に、若者の転入・転出の状況を分析したものがある とよいのではないか。</p>
委員	<p>創生総合戦略の概要や取組み、振り返りなどの説明を求めることは可能か。</p>
事務局	<p>創生総合戦略は総合計画と密接に関連している。人口ビジョンと総合戦略の2部構成としており、計画期間は今年度までとなっている。</p> <p>国では今年中に次期戦略を、福島県では今年度中に次期戦略を策定することとしており、市町村にも年度内策定の依頼があった一方、状況に応じ、期間を延長することなども可能とされている。市としては、現行戦略策定から3年程度であり、ようやく軌道に乗ってきた部分があることや、次期戦略で掲げられる「広域連携」に関して近隣自治体の動きを捉える必要があることなどを勘案し、期間を1年延長して総合計画と計画期間を合わせたいと考えている。</p> <p>現行戦略の総括や考え方等については、今後、適宜審議会に情報提供していきたいと考えている。</p> <p>また、人口減少に対する取組みとして、若者がいわきを知らないまま市外に流出することを防ぐため、教育委員会と連携した取組みを行うとともに、市外にいてもいわきの情報を得られるような、つながりを生む取組みなども行っている。しかし、まだまだ取組みが必要な状況であるため、新しい創生総合戦略においてもこれらの点をキーワードとして、さらに検討してまいりたい。</p>
委員	<p>子どもたちの地域愛や産業への理解啓発という意味では「いわきアカデミア」によるキャリア教育もある。</p>
委員	<p>【いわき市の重点課題について】</p> <p>今のままではいわき市はダメになってしまうのか。もしそうであっても、ダメにならないようにしたらよいのであって、そのためにはダメになってしまう理由を明らかにする必要がある。例えば、担い手がないであるとか、企業の売り上げが低いとか、人口減少が著しいとか、そのような理由を明らかにしたうえで、大体の方向性を決めていかないと、意見が集約されにくいと考える。</p>

(2) 新たな総合計画の方向性について

発言者	主な発言内容
委員	<p>【「まちづくりの方向性」について】</p> <p>従来の基本構想には「めざしていくいわきの姿」があった。実効性は別としても、新たな計画に「いわきの将来像」は入れるべきではないか。</p>
委員	<p>まちづくり基本条例は「姿勢や仕組み」であるため、新たな総合計画には「市としてどういうまちにしていくなか」という方向性を示すことが必要ではないか。姿勢のみの内容であれば、必ずしも総合計画は必要ないと考える。</p>
委員	<p>福島県は次期総合計画の策定の中で、創生総合戦略など、総合計画の下部にあたる計画は「実行計画」として位置付ける方針。市の総合計画を、同様のものとするならば、他の計画に与える影響を考えると「方向性」は必要ではないか。</p>
委員	<p>まちづくり基本条例は普遍的なものとして、推進するしくみを新たに位置付け、経営指針を可変的なものとして「中長期を見据えた5年程度の期間」で策定し、中長期の目標を意識していくという理解をしている。</p>
委員	<p>【キャッチフレーズについて】</p> <p>十数年前に芸術や文化に力を入れたまちづくりを推進していたことがあったが、そのように力を入れていく部分を強調するものがあると、総合計画を一言で表すことができ、分かりやすいのではないか。</p>
委員	<p>30年近く前、いわき市は教育にものすごく力を入れていた。当時の県内の進学校4校の成績や進学率でも上位に位置するなど、一定の効果はあり、人口当たりの開業医、弁護士、税理士、公認会計士などの数は多かったように記憶している。</p>
委員	<p>現計画でもキャッチフレーズを掲げているが、有名無実化しているのが現状であることから、「キャッチフレーズをつけるのはいかがなものか」といった意見があることも理解はできる。ただし、力を入れていく部分の方向性などを明らかにするのは大切ではないかと考える。</p>
委員	<p>【条例のまちづくりを推進するしくみについて】</p> <p>目指していく方向に進むための「条例のまちづくりを推進するしくみ」をどのように構築するかが非常に大切だと感じる。まちづくりのキーとなる「ひと」、中心人物がいないと目標を立てても実現しにくいと考える。そうであれば、「やりたい」と思ったことを「やれるしくみ」をつくっていくよう議論すべきではないか。</p>

委員	<p>学生と話していて感じるのは、意欲のある学生ほど市外に出て行ってしまう、ということ。余程、いわきに興味がある等でないと、自分の能力を生かせる企業がないといった理由で出て行ってしまう。企業にも若者が働きたいと感じる企業を意識した取組みをしてもらうことなども「しくみ」として盛り込めれば「自分ごと化」につながるのではないかな。</p>
委員	<p>公民連携は、地域によって差はあるが、既に取り組まれているものもある。ただ、声をあげられる人ばかりではないので、行政には中心でしっかり柱となっていたきつつ、細部について市民と一緒にきめ細かく対応していく「しくみ」を入れ込んでもよいのではないかな。</p>
委員	<p>【いわき市の「特色」を出すことについて】</p> <p>他自治体との差別化を図るには、「めざしていくいわきの姿」などにいわき市の特徴を入れ込む必要があるのではないかな。</p>
委員	<p>基本的なまちづくりの理念は、どの自治体でも同様の内容となってしまうのであれば、「如何にいわき市で実現するか」に焦点を当てるべきではないかな。そのために、いわき市の良さを知って他自治体と比較し、抜きん出ているところを推進、評価していく必要があるのではないかな。</p>
委員	<p>【今後について】</p> <p>審議会委員には「アンケート調査等の取組みから分かってきたこと」を踏まえ、「新しい総合計画のフレーム」について確認・意見を求められているものと認識している。その部分については、異議なし。ただ、多くの委員の意見として、早く具体的な議論に入っていきたいのではないかと考える。</p>
委員	<p>今後、議論をしていくうえで、「どこまで具体的に」議論していくのか明らかにしていただけると、議論がスムーズになるのではないかな。</p>
事務局	<p>次回以降は、今回定まったフレームに基づき、「条例のまちづくりを推進するしくみ」、「経営指針」について議論に入っていきたいと考えている。</p>

(3) その他

発言者	主な発言内容
事務局	<p>次回の会議の日程については、諮問を行うこともあり、委員のご都合を踏まえて調整したい。現時点での候補日をアンケートに記載しているので、現時点のご都合を記載いただきたい。詳細については、改めて事務局より連絡をさせていただく。</p>

以上

以上の議事録が正確であることを証するため、次に署名押印する。

令和 元 年 8 月 28 日

議事録署名人

金成克哉



令和 元 年 8 月 29 日

議事録署名人

金子隆子

